

令和元年度第3回経営会議概要

- 1 開催日時：令和元年7月2日（木） 9:00～9:10
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり
(●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問)

議題1 令和2年度重点取組について

●中野課長【企画課】（資料1に基づき説明）

重点取組は、県の限られた行政経営資源を優先的に配分する仕組みであり、選定された取組は、「令和2年度三重県経営方針」に位置付ける。事業の判定にあたっては、「協創」の視点に加え、「Society5.0」「SDGs」の視点を取り入れたものを優先する。視点については、現在検討中であり、次回の経営会議でお諮りしたいと考えている。公共事業については取り扱わず、中長期的な視点を踏まえた種まきとなるような取組も検討する。また、地方創生推進交付金の活用も検討いただきたい。

テーマについては、知事政策集の柱建てに基づき4つ設定しており、小見出しの記載については、限定的に考えていただきたい。

新規事業であることは要件とせず、国費等一般財源以外の財源についても積極的に活用いただきたい。

事業規模は、昨年度同額程度を想定しており、提案の上限は部ごとに1億円、局のある地域連携部は1.5億円、環境生活部、雇用経済部は1.25億円とし、事業費の下限は1百万円とする。

提案については、昨年度と同様に事業マネジメントシートを基本に考えており、今回は周辺の関連情報もあわせて提案いただきたい。

判定は2段階で行い、「協創」「Society5.0」「SDGs」の視点等については加点させていただく。予算編成過程においては、今までいただいたご意見等をふまえ、取組の必要性等はあらかじめ議論しないこととする。

確定次第速やかに提案を募集し、8月上旬を締切といたしたい。

☆大橋子ども・福祉部長

「種まき」のイメージについて教えていただきたい。3ページの「(5)提案方法等の改善」にあるファクトに基づく課題分析の重要性をどう考えればよいのか。土壌改良のようなイメージか、それともピンポイントで深く種をまくイメージなのか、どちらなのか。

●中野課長

テーマ(3)に「未来への希望」「挑戦」を掲げており、このテーマだけに限らないが、緊急性の高い事業だけでなく、今、事業に着手することによって将来の効果が見込める、そのために、今、事業を着手する必要があるものを想定している。どちらかと言えば前者の考え方である。

以上